

平成21年度 6月分NGO相談員対応結果

●今月の照会・相談対応全体に対する所感等(注:具体的に記載して下さい。)

チラシやポスターの配布などを精力的に行い、電話による問い合わせも多くなってきた。またFM局でも積極的に広報活動を展開することにより、高校生や大学生などの問い合わせも増えてきている。今月はNGO相談員会議が行われたこともあり、多くの相談員とのネットワークもできた。そのことによる顔の見える情報交換は非常に有意義だと感じられた。これから北海道はいい季節になるため、外に出かけることが多くなるので、相談のため訪問をしてもらうことも多くなる。できるだけ、多くの相談に対応できるように、資料や情報を揃えていくようにしたいと考えている。引き続き、精力的に相談業務を行ってゆきたい。

●今月貴団体が対応した照会・相談のうち、特筆すべき照会・相談事項を3件記載下さい(3件以上ある場合、追加して記載下さい。)

1	組織形態の選択について	
相談内容	NPO法人格か、財団法人、あるいは任意団体になるべきかアドバイスが欲しい	
対応内容	寄付を集めて団体運営をしてゆくのであれば、認定NPO法人格や、公益財団法人を目指すのが選択肢として考えられる。また、その団体運営における財政面での関心も高くなっており、助成金や補助金の申請だけではなく、ファンドレイジングについても大いに関心を持っているため、説明をした。	
特筆した理由	①公益法人格への関心が高まっていると感じられるため ②法人格に関してファンドレイジングについての情報が必要と思われるため	
2	開発教育の教材作り	
相談内容	高校の授業のために、開発教育の教材を作りたいと考えている。すでにできているものを参考にしたい。地域のオリジナリティのある教材作りをしたい。	
対応内容	開発教育協会や北海道の開発教育グループD-NETを紹介する。また、オリジナルの教材をつくっている浜松の多文化共生プログラムや、滋賀国際交流協会などの取り組みも紹介する。また国際分野に絡めてつくられた環境教育教材の「北海道エコカルタ」などについてもお知らせをした。	
特筆した理由	①学校教育の中で開発教育がだんだんと多く取り上げられるようになったため ②既存のものだけではなく、オリジナル教材をつくらうという意欲を感じたため	
3	海外でのボランティア活動	
相談内容	夏休みに向けて海外でのボランティアをしたいと考えている。今からでも参加できる海外のボランティアはないでしょうか	
対応内容	いろいろなスタディツアーを紹介する。また2週間程度の海外ボランティアということで、国際ワークキャンプについて説明をした。また、行きたい国も知識を持ってもらいたいと考えて、世界地図などを使って話をした。	
特筆した理由	①夏休みの過ごし方の選択に海外ボランティアへの興味が高まっているため ②就職しないで海外にいったという層も増えてきたように思われるため	

